

# たかだ 高田地区

(新潟県上越市)

- 計画期間 平成25年度～平成29年度
- 面積 674ha
- 交付対象事業費 4,968.8百万円
- 市人口 185,892人

**ポイント** 拠点施設の拡散防止  
都市機能の維持強化

**地区概要** 高田駅を中心とした中心拠点区域の拠点施設の拡散防止と都市機能の維持・強化をし、中心市街地と高田公園の連携を図り、城下町高田のまちの価値を高め、再構築を目指す。

**目標** 高田開府400年と北陸新幹線開業を新たなスタートとした城下町高田の賑わいの再生とまちの再構築  
・拠点施設の拡散防止と新たな施設設置及び再生による中心拠点区域の都市機能の維持・強化

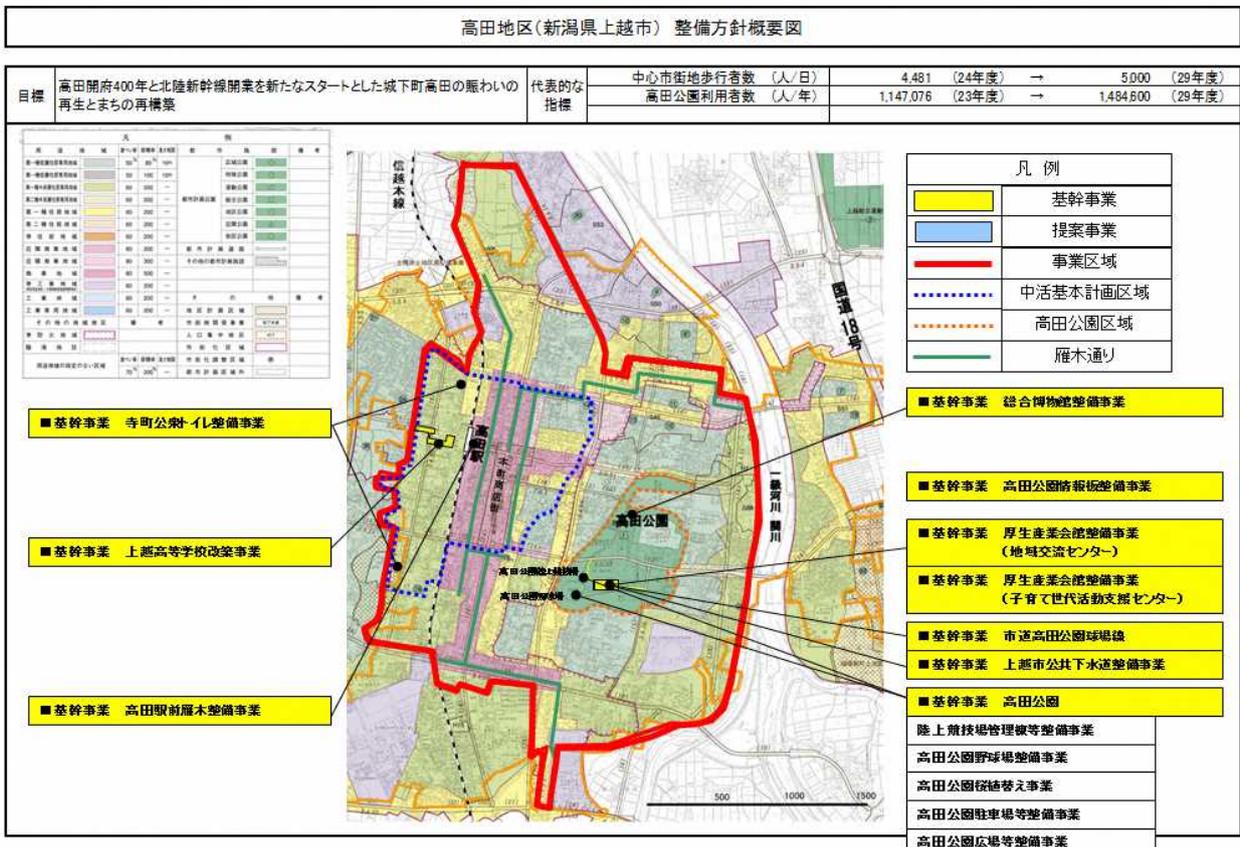
## 指標

高田地区の中心市街地と観光拠点である高田公園の整備により、一体的な賑わいを図り、中心市街地の活性化と高田公園内における地域内交流の促進や観光客の増加を目標とした。

項目	従前値 (年)	目標値 (年)	確定値 (年)
中心市街地歩行者数	4,481 人/日 (H24) →	5,000 人/日 (H29)	5,003 人/日 (H29)
高田公園利用者数	1,147,076 人/年 (H23) →	1,484,600 人/年 (H29)	1,536,971 人/年 (H29)

## 事業内容

基幹事業 (4,968.8 百万円) → 道路 (市道高田公園球場線 L=581m)、公園 (高田公園整備事業 A=48.3ha)、下水道 (上越市公共下水道事業 L=330m)、地域生活基盤施設 (高田公園情報板整備事業 N=25 基)、高次都市施設 ((仮称)厚生産業会館整備事業 延床 4,997.8 m<sup>2</sup>)、中心拠点誘導施設 (上越高等学校改築事業 延床 7,750 m<sup>2</sup>)、既存建造物活用事業 (総合博物館整備事業 延床 1,260.77 m<sup>2</sup>)、高質空間形成施設 (寺町公衆トイレ整備事業 N=2 棟(延床 16 m<sup>2</sup>/棟)、高田駅前雁木整備事業 (L=52.4m))



## 地区の現況と課題

### 【現況】

高田地区は高田駅を中心に商業施設、住宅地、並びに大規模な都市公園 高田公園を有し、多くの都市機能が集積する拠点性の高い地区である。

特に高田公園は、観桜会を始めとする大規模イベントの会場であるとともに、文化施設や運動施設が立地していることで、市内外から多くの人々が集う観光拠点となっている。

また、高田地区には高等学校が数多く立地しており、多くの学生が集まる地区である。

近年、商業・公共施設等の郊外移転や人の転居が進んだことで、高田地区の賑わいや魅力が失われつつあり、下記のような課題を抱えていたが、事業の実施で中心市街地歩行者数や高田公園利用者数が向上するなど、まちの賑わい再生が図られた。

### 【課題】

- ・ 拠点施設の郊外移転の抑制（地域内立地の促進）
- ・ 新たな拠点施設の整備
- ・ 既存施設の機能維持、強化
- ・ 新たに持続可能な集客イベントの開発
- ・ 城下町高田の回遊性の創出と中心市街地の活性化

## 計画策定プロセス

### 『複合型拠点施設の計画策定プロセス』

#### 計画検討

- 庁内検討委員会の設置
- ・ 市民交流会館の廃止や公民館施設の建替えが必要となり複合施設を検討
- ・ 各種施設の利用状況や全国類似施設の調査を行い、施設規模の検討や候補地を選定

#### 住民参画促進及び技術・専門的検討との有機的な連携

- ワークショップ
- ・ 部会構成で開催してきた6回の市民ワークショップと3回の調整会議を実施
- ・ ワークショップ便りとして、情報誌を3回発行
- 意見募集
- ・ 市民の意見募集を2回実施
- 整備検討委員会
- ・ 公募による市民のほか、学識経験者や各種団体の代表者で構成された委員会を6回実施し、基本構想（案）を策定

#### 事業特性や地域特性を踏まえた検討

- 地域協議会への諮問を実施
- ・ 検討状況やスケジュール、基本構想（案）等の説明会を実施
- パブリックコメントの実施



整備前



整備後

▲上越高等学校改築事業による拠点施設の郊外移転の抑制



▲厚生産業会館整備事業による新たな拠点施設の整備



整備前



整備後

▲高田公園整備事業等による既存施設の機能維持、強化



▲ワークショップの実施状況